

令和8年度

富山県立大学環境講演会



講演
テーマ

土から 生命と地球環境を考える

日ごろ意識することも少ない土ですが、私たちの食料の95%は土のおかげで生産できています。土は地球にしかなく、植物が上陸してから5億年かけて発達したものです。私たち人類は、土をうまく利用することで発展してきました。一方で、地球温暖化のような地球規模での気候変動、世界の各地で砂漠化などの土壤劣化も問題となっています。土とはいったい何で、私たちはどのように付き合っていくことができるのでしょうか。一緒に考えていきたいと思います。



講師
福島国際研究教育機構
土壌ホメオスタシス研究ユニット長
藤井 一至 氏

土の研究者。福島国際研究教育機構土壌ホメオスタシス研究ユニット長。1981年富山県生まれ。京都大学農学研究科博士課程修了。博士(農学)。京都大学研究員、日本学術振興会特別研究員、森林研究・整備機構森林総合研究所主任研究員を経て、現職。カナダ極北の永久凍土からインドネシアの熱帯雨林までスコップ片手に世界各地、日本の津々浦々を飛び回り、土の成り立ちと持続的な利用方法を研究している。第1回日本生態学会奨励賞(鈴木賞)、第33回日本土壌肥料学会奨励賞、第15回日本農学進歩賞、第7回河合隼雄学芸賞受賞。著書に『大地の五億年 せめぎあう土と生き物たち』(山と溪谷社)、『土地球最後のナゾ』(光文社)、『土と生命の46億年史』(講談社、毎日出版文化賞)など。

2026.11.5(木) 13:10-14:40

富山県立大学 射水キャンパス 中央棟 大講義室(N101)

射水市黒河5180

主催：富山県立大学 後援：(公財)富山県ひとづくり財団

参加費
無料

お申込み



QRコードより申込みください。QRコードからの申込みができない場合はチラシ下部に記載のアドレスへご連絡ください。

お問い合わせ

富山県立大学事務局教務課 情報研究係 E-mail tpu-kankyoku@pu-toyama.ac.jp

TEL 0766-56-7500 FAX 0766-56-6182